

○「農業後継者の課題について委員自身の就農のきっかけがヒントか？」
(京都市京丹後市網野町地区連絡会議)(令和元年12月)(第12回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

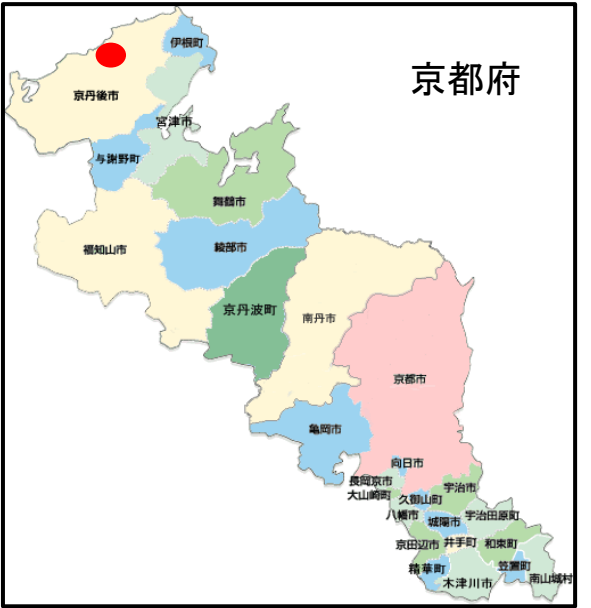
遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年12月4日 午後6時~7時
- 場 所: 京丹後市網野町教育会館
- 出席者: 農業委員3人、最適化推進委員2人
委員以外: ー (欠席 推進委員2名)
- 報告者: 石嶋政博 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 商業地と農業地帯(内陸の水田及び開発畑、海岸沿いの砂丘畑)に区分
- 大規模水田農家や砂丘畑の野菜農家、ハウスによる花卉農家、多頭飼育の畜産農家など農業経営体が比較的元気

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 農業委員会定例会の審議案件の概要報告と運営員会での形状変更届要綱についての内容報告
- テーマ別意見交換会出席の感想に関連してオリーブ栽培について意見交換
- 重点地区の新庄地区の耕作者地図作成のための白地図の提供を要請するように助言
- 丹後・弥栄地区定例会の話し合い活動の様子を紹介
-
-
-

- 4 活動結果
- 情報・意見交換 1 時間
 - 担い手への集積 a 増加
 - 遊休農地面積 a 解消
 - 新規就農者 人 支援